

代表質問・一般質問から

第1回定例会では、市長の施政方針に対して、会派ごとに質問をする「代表質問」と無所属議員による「一般質問」が4日間にわたり行われました。2面～7面では、市長の施政方針及び代表質問・一般質問の主な内容についてお知らせします。全文は後日、会議録に掲載されます。公開予定日は10面をご覧ください。



動画視聴はこちらから!

〈本会議中継QRコード〉
(次の定例会の中継が公開されると、視聴は終了します)

市長の施政方針の概要

2月25日の本会議において、市長が施政方針を表明しました。詳細は市報3月15日号、市ホームページをご覧ください。



これからのまちづくりに向けて

我が国は、本格的な「少子高齢化・人口減少社会」を迎えようとしている。

将来を見据え、持続可能な社会を築くため、さらなる改革を進める必要がある。

「学校を核としたまちづくり」を推進するとともに、ソフト・ハードの両面において形あるものを次世代に引き継ぎ、残すため「次世代につながるまちづくり」を施策推進の基軸に据え、まちづくりを進める。

子どもが「真ん中」のま

義務教育就学児や高校生等の医療費は所得制限だけでなく自己負担も撤廃する。

子ども・若者が企画や運営等にも参画できる機会の充実を図る。

次世代につながる環境施策について

友好都市である北杜市内での森林整備によるカーボンオフセット事業やカーボンク

ジットを活用した取組を進める。

P F A S については、市所有の震災用井戸等の水質検査を行う。

恒久平和の取組について
(仮称)戦後80周年平和大使事業を実施するほか、平和に関する作品を連続上映する。

若者とともに進めるまちづくりについて
「若者ミーティング」からの提案を踏まえた検討を行う。また、市民協働企画提案事業のU29チャレンジ部門を継続するとともに、若者向けPR動画を作成する。

令和7年度の主要な取組
子どもにやさしいまち
こども家庭センターに、ヤングケアラー・コーディネーターを配置する。

学童クラブのタイムシェアを新たに市内4校で実施するとともに、(仮称)田無柳沢学童クラブの令和8年1月開設に向けた整備工事を進める。

令和8年度の特別支援学級の開設に向けた準備を進める。

学校施設では、保谷小学校校舎の耐力度調査を行うほか、小中学校の高架水槽等の改修方法等を検討するための調査を行う。

登校できず学校給食を喫食することができない児童・生徒を対象に、学校給食費相当額の支援を行う。

田無第三中学校の建て替え

は、周辺公共施設との複合化や学校施設の地域利用等、分野横断的な視点で検討する。

健康で元気なまち
高齢福祉分野では、フレイル予防・介護予防の取組をさらに進め、もの忘れ予防検診を継続する。

障害福祉分野では、障害のある子どもの日常生活用具の給付に係る所要要件を撤廃する。

旧谷戸高齢者在宅サービスセンター跡地では、ひきこもり地域支援センター事業を展開する。

保健事業では、がん患者へのウィッグや胸部補正具などの購入費用等の助成を実施する。

集える場とつながりのあるまち
ひばりが丘総合運動場テニスコートの全面改修工事の実施や、南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」の空調設備等の更新工事を行う。

下野谷遺跡は、国史跡指定10周年に合わせたシンポジウム等を開催するほか、ガイド機能の充実を図る。

公民館事業では、学生ボランティアによる講座やイベントを開催し、多世代のサードプレイスとしていく。

安心・安全で快適なまち
公共交通については、市南部の交通空白地域において新たな移動手段の実証運行を実施する。

令和8年3月までに保谷駅でのホームドアの設置を進める。

防災・防犯分野では、災害時等への対応として、非常用自家発電機の改修を行うほか、エレベーター内の閉じ込め対策となる防災キャビネットの設置を進める。

また、ガバメントクラウド

ファンディングを活用したトイレカーの導入や、在宅避難対策となる携帯トイレを全世帯に配布する。

防犯対策では、商店会の防犯カメラ設置助成を継続し、維持管理費の助成制度を創設する。また、防犯活動団体への防犯カメラ設置補助を実施する。

新たに、住宅等の防犯対策に対する助成制度を創設する。

市民とともに発展するまち
市民協働推進センターゆめこらぼは、新たな運営事業者のもと、コーディネーター機能の充実を図る。

保谷庁舎敷地の活用では、子どもたちの健やかな育ちと地域の多様な世代が集い憩える場所の整備に向けて事業者の公募・選定を行う。

産業・農業振興では、商店街活性化推進事業補助金の補助率の拡充を継続し、ビニールハウス整備等の費用の一部を補助する制度を創設する。

行財政基盤の強化を絶えず目指すまち
第3次総合計画や第5次行財政改革大綱を踏まえつつ、令和7年7月の組織改正に向けた取組を進め、行政サービスの維持・向上に取り組む。

また、学校給食費の公会計化を実施する。

ネーミングライツの導入などにより、新たな財源の確保による財政基盤の強化に取り組む。

情報システムの標準化・共通化を進めるとともに、公共施設予約管理システムの更新による利用登録や支払い手続のオンライン化のほか、AI等を活用した相談業務の支援など、住民サービスの向上と業務の効率化を図る。

自由民主党西東京市議団

市長2期目、議会と緊張感と信頼関係を築きながら、市のさらなる発展と課題解決に向けた建設的な議論を!

- 坂井 かずひこ
- 酒井 ごう一郎
- とみなが ゆうじ
- 小林 たつや
- 稲垣 裕二
- 保谷 なおみ
- 中山 清志
- 山田 大介
- 佐藤 大介

市長の政治姿勢

2期目の4年間にい

でどのようなまちをつくり

上げたいと考えているのか。

これまでに取り組んできた

施策や達成された成果を基

にしながら2期目において

どのようなビジョンを持つ

てまちづくりを進めていく

のか。決意と目指す方向性

について伺う。

市民の負託を受け2期

目の市政運営の重責を担う

ことになった。これまでの

4年間次世代への責任ある

選択を政策判断の基軸に

し、子どもが真ん中のま

ちづくりを政策理念の一番

の柱に市政を進めてきた。

新型コロナウイルス感

染症対策、物価高騰対策を

はじめ、子ども、環境、平

和、若者の4つの政策に力

を入り、次世代への責任を

果たしてきたところだ。次

の4年間はこれまで取り組

んできた4つの柱の基盤整

備をさらに発展させ次世代

につながるまちづくりを推

進していく。市内各所で行

われる各種イベント、市民の

皆様が活動する場などでの

対話から得られる声は大変

貴重で、行政運営を進めて

いく上で有用であると考え、

積極的に現場へ足を運んだ。

具体的な取組としては、様々

な場面で多くの方々から要

望、意見を頂いた学校給食

費の無償化の実現である。

議会との関係については

引き続き緊張感と信頼関係

を築きながら西東京市のさ

らなる発展と課題解決に向

けた建設的な議論を進めて

いく。

*カーボンオフセット (carbon offset) 人間の経済活動や生活などを通して排出された温室効果ガスを、植林・森林保護・グリーンエネルギー事業(排出権購入)による削減活動によって、他の場所で吸収しようとする考え方や活動のこと *カーボンクレジット 主に企業間で温室効果ガスの排出削減量を売買できる仕組み *ヤングケアラー・コーディネーター 家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っている認められる子ども・若者(ヤングケアラー)の相談を受ける人のこと *サードプレイス 自宅、学校、職場とは別に存在する、居心地の良い居場所のこと